

まちに、夢を描こう。



個人投資家さま向け 会社説明会

西日本鉄道株式会社

2022年3月8日(火)

証券コード：9031

アジェンダ

1

会社概要

2

西鉄グループの経営戦略

3

主要な取り組み

4

連結決算の概要(2020年度・2021年度第3四半期)
2021年度通期業績予想

5

株主還元・株主優待

会社概要

会社概要

東証一部・福証(証券コード9031)

西日本鉄道株式会社

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

- 設立：1908年12月17日
- 本社：福岡市博多区博多駅前三丁目5番7号
- 代表者：取締役社長執行役員 林田 浩一
- 資本金：261億5千7百万円
- 株主数：17,637人(2021年3月31日時点)

営業収益



346,121百万円
(2020年度・連結)

グループ従業員数



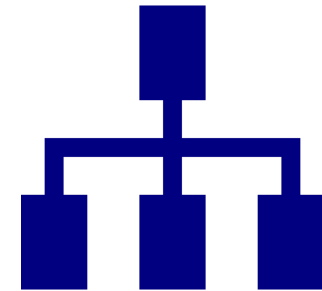
19,204人
(2021年3月31日時点)

海外事業所数



29カ国・地域120都市
(2021年12月末時点)

連結の範囲



子会社80社・関連会社33社
(2021年12月末時点)

西鉄グループ概要

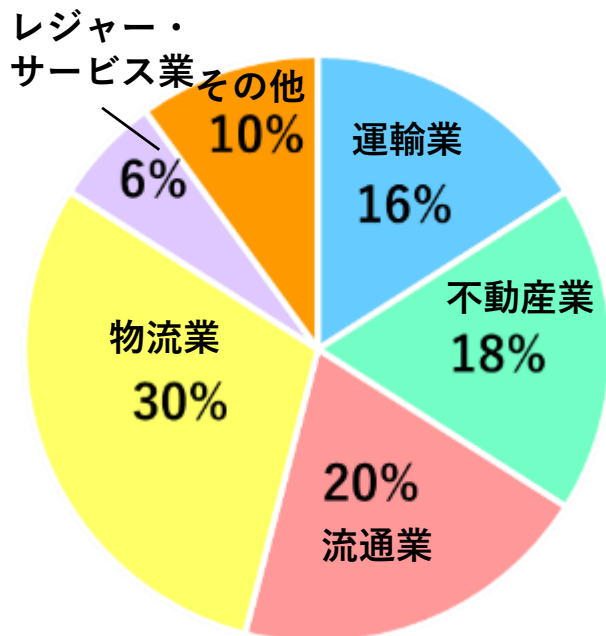
・福岡を基盤とする生活関連事業：運輸業・不動産業・流通業等

・西鉄ブランドを基盤に域外展開：国際物流事業・住宅業・ホテル事業等

セグメント別 連結営業収益構成比

連結営業収益

[2020年度]346,121百万円



西鉄グループのあゆみ

1900's

1960's

2020's

1908年
“九州電気軌道”設立



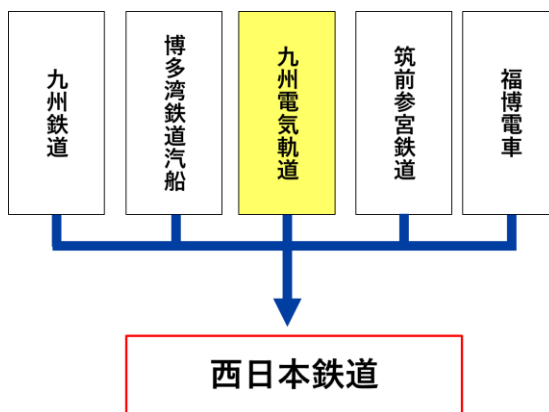
九州電気軌道の電車

1948年
航空代理店業の開始



航空代理店業開始当時の新聞広告(1948年)

1942年
5社合併、商号を”西日本鉄道”へ



1943年
福岡県下のバス事業を統合
“西日本鉄道株式会社”の原型が形成



太宰府軌道のバス

1961年
福岡ビルの開業



1963年
西鉄ライオンズ優勝



西鉄グループのあゆみ

1900's

1960's

2020's

1968年頃
開発当初のみくに野団地



1969年
西鉄グランドホテル開業



1969年
西鉄ストア1号店開業(朝倉街道店)



1990年頃
福岡～東京線 はかた号の運行



1994年
ソラリアターミナルビル建設(天神)



2024年度開業 ※2021.12新築工事着工
福ビル街区建替プロジェクト



西鉄グループの経営戦略

西鉄グループの経営戦略

企業理念

〔基本理念〕

にしてつグループは「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、“あんしん”と“かいてき”と“ときめき”を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。

企業メッセージ

〔企業メッセージ〕

まちに、夢を描こう。
Connecting your dreams

にしてつグループ まち夢ビジョン2025

〔目指す姿〕

福岡のまちの発展をけん引するとともに、グローバルビジネスを拡大し、成長する西鉄グループ

第16次中期経営計画

2022 “修正”第15次中期経営計画
(2019~2022)

2021

〔修正第15次中計 テーマ〕

筋肉質でサステイナブルな企業グループへの変革
“ニューノーマルにおける西鉄ブランドの価値追求”

2020

第15次中期経営計画
(2019~2021)

〔第15次中計 テーマ〕

未来を見据えた強固な基盤づくり
~Envisioning the future and building a solid foundation~

2019

第14次中期経営計画

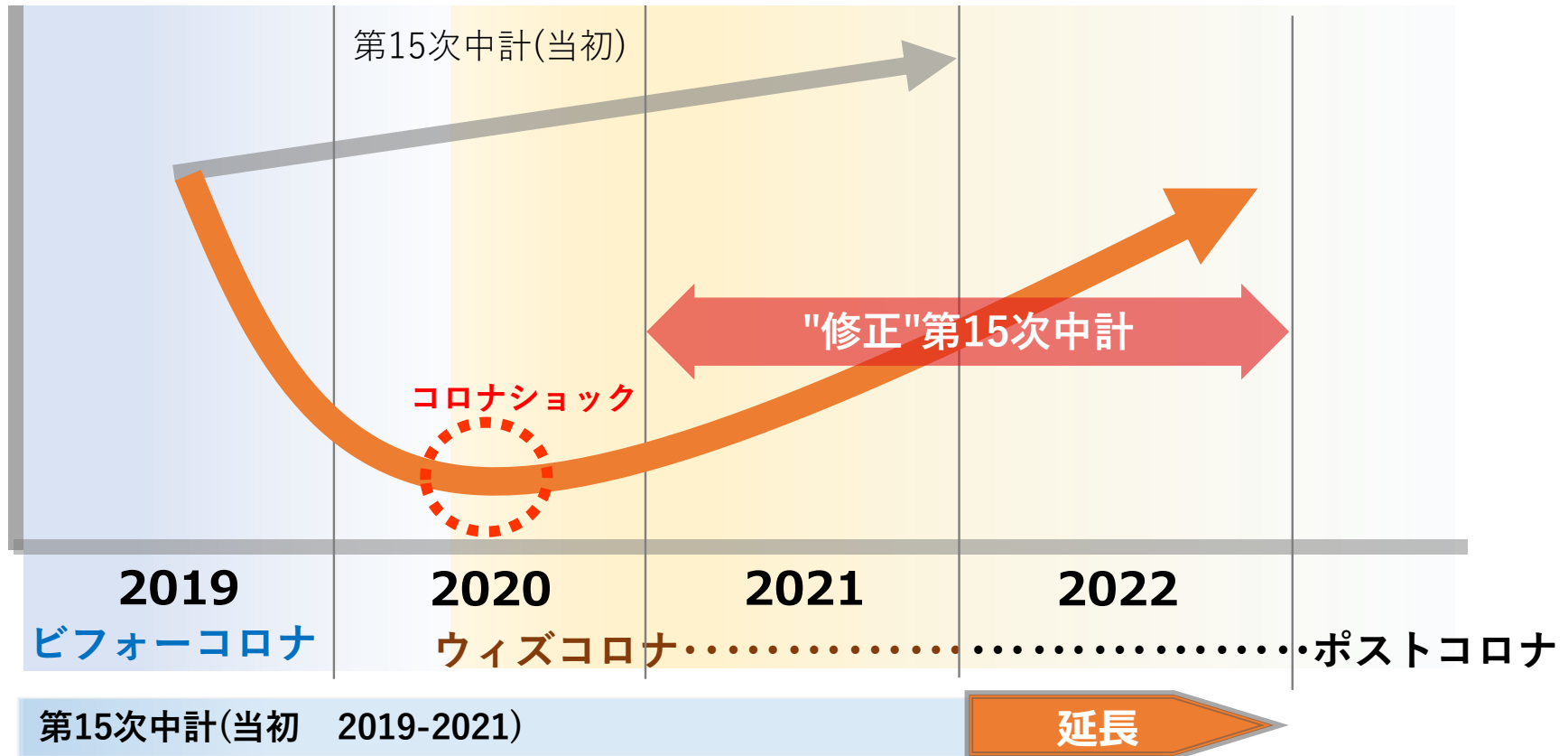
〔第14次中計 テーマ〕

“次のにしてつ”へのさらなる挑戦
~Moving forward to Next Stage in NNR~

“修正” 第15次中期経営計画 の位置づけ

第15次中期経営計画を**1年延長(～2022年度)**し、
再び成長軌道に向かう**“修正” 第15次中期経営計画**へ

事業
利益



筋肉質でサステイナブルな企業グループへの変革 “ニューノーマルにおける西鉄ブランドの価値追求”

基本方針

聖域なき構造改革とニューノーマル下での成長戦略を着実に推し進め、
ウィズコロナ・ポストコロナ社会においても存続し成長に向かう
企業グループを目指す

重点戦略

- 1 聖域なき構造改革・事業モデル変革とポートフォリオの見直し
- 2 グループ経営体制・組織体制の見直し、組織風土改革
- 3 持続可能で活力あるまちづくりの推進
- 4 住宅・流通・国際物流・海外事業の収益拡大
- 5 デジタル化・新技術の活用による生産性・顧客体験の向上
- 6 ESG・SDGs視点での取り組み強化
- 7 安全・リスクマネジメントの強靱化

主要な取り組み

聖域なき構造改革・事業モデル変革とポートフォリオの見直し

聖域なき構造改革・事業モデル変革



▶ 運賃・ICポイント施策の見直し

[鉄道・バス]
ニモカ乗車ポイント、
ボーナスポイント廃止(2021.4)

[バス]
都心100円エリアを
150円エリアに変更(2021.7)



▶ 利用状況に応じた減便

[鉄道・バス]
ダイヤ改正(2021.3)



▶ 近隣店舗の要員集約、ICTを活用した省力化の推進

[ホテル]自動チェックイン機導入
(2021.12/西鉄イン天神)



ポートフォリオの見直し

▶ レストランシップ
マリエラの運航終了
(2021.1)

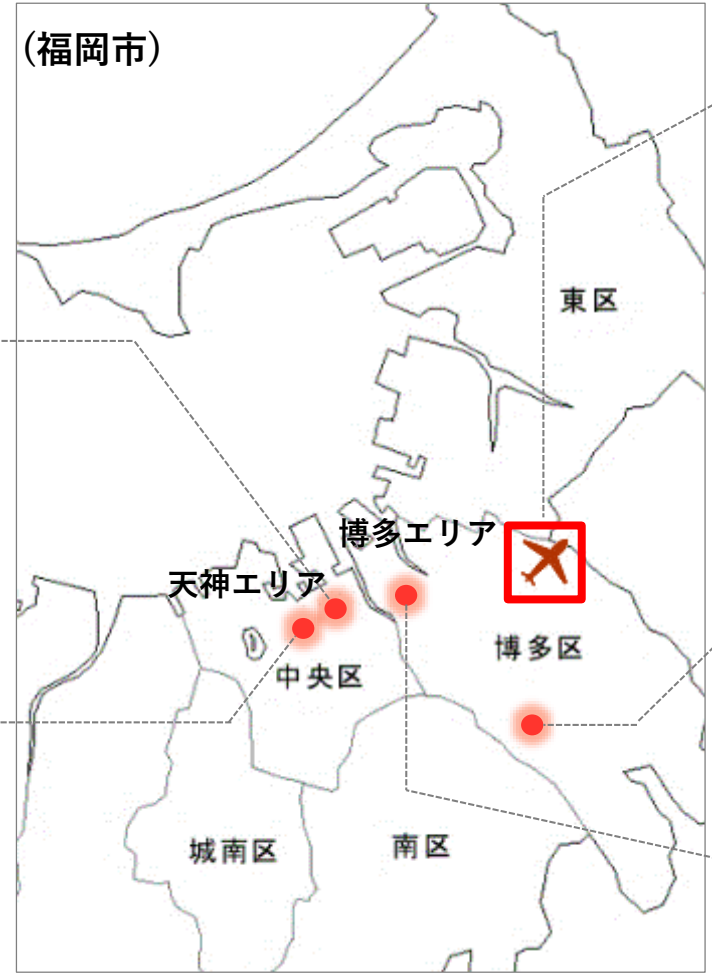
▶ かしいかえんシルバニア
ガーデンの閉園
(2021.12)

▶ 一部ホテルの売却
西鉄イン心齋橋(2021.4)
西鉄イン蒲田・名古屋錦(2022.3)

▶ 西新パレスボウルの閉鎖
(2022.3)



福岡都心の大型開発プロジェクト



福岡都心の大型開発プロジェクト

福ビル街区建替プロジェクト (2024年度開業)

創造交差点 meets different ideas ~訪れる人々を常にワクワク・ドキドキさせる新しい価値を生み出し続ける場所~

西日本最大規模の基準階面積を備えたハイスペックオフィスと商業・ホテルなどの複合施設



プロジェクト概要	所在地	福岡市中央区天神一丁目11番
	敷地面積	約8,600㎡(約2,600坪)
	延床面積	約147千㎡(約44千坪)
	階数/建物高さ	地上19階、塔屋1階、地下4階 / 約97m
	用途	商業、オフィス、ホテル、カンファレンス他
	総投資額	約850億円

スケジュール	2020.4	天神コア・ビブレ解体着手
	2020.10	旧福ビル地上解体終了・地下解体着手
	2020.11	国内最高水準の大型複合ビルに計画変更 (外部環境変化への対応、商品性の向上)
	2021.12	新築工事着手
	2024年度	開業

トピックス

- ✓ 国内最高水準の大型複合ビルに計画変更 (2020.11)
 - ・ 外部環境変化への対応(感染症対応・環境負荷低減等)、商品性向上(西日本最大規模の基準階面積を有するオフィス等)
- ✓ "DBJ Green Buildingプラン認証"取得(2021.4)
 - ・ 最高位ランク"5つ星"『国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされた建物』との評価
- ✓ ホテル概要・運営パートナー決定(2021.12)
 - ・ “創造交差点”の実現に向けて、(株)Plan・Do・See と提携し、ハイクオリティなライフスタイル型ホテルを導入
- ✓ 福岡市への国際金融機能誘致を目指す産学官組織”TEAM FUKUOKA”と連携した国内外企業へのPR

福岡都心の大型開発プロジェクト

旧大名小学校跡地活用事業(2022年度竣工・全体供用開始予定、2022年度末ホテル開業) ※事業参画

天神ビックバンの西のゲート「スタートアップ&グローバル」新ビジネス拠点

グローバル創業都市・福岡を具現化する、オフィス・商業を含む複合施設



▲出典:大名プロジェクト特定目的会社

プロジェクト概要	所在地	福岡市中央区大名二丁目165番1,2及び3
	敷地面積	約11,900 m ² (計画地面積[既存の南校舎敷地を除く]:約10,000 m ²)
	延床面積	約90,400m ²
	階数/建物高さ	地下1階、地上25階/約111m
	用途	ホテル、オフィス、賃貸マンション、商業、公共施設他

スケジュール	2019.12	建設工事本着工
	2022.12	竣工・全体供用開始(予定)
	2022年度末	ホテル開業(予定)

トピックス

- ✓ 福岡市が掲げる「感染症対応シティ」に向けた取り組み(感染症対策・健康増進を目的とした取り組み)
- ✓ コンソーシアム各社と連携した事業推進[商業テナントリーシング]

“旧大名小学校跡地活用事業”の特長

- ✓ 九州初のラグジュアリーホテル「ザ・リッツ・カールトン」を誘致
- ✓ ワンフロアの専有面積が2,500 m²以上のハイグレードオフィスを配置
- ✓ 旧大名小学校南校舎のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」と連携した創業支援・人材育成環境の提供
- ✓ 約3,000 m²の広場やコワーキングスペースなどを通じた世界や地域との多様な交流拠点

福岡都心の大型開発プロジェクト

青果市場跡地活用事業(2022年4月開業)

三井ショッピングパーク ららぽーと福岡〔九州初進出〕

多様な人々が集い出会う多彩な“パーク”(広場)やコミュニティの拠点となる活気あふれる空間



プロジェクト概要

所在地	福岡市博多区那珂6丁目23-1 他 (福岡市青果市場跡地)
敷地面積	約86,600 m ² (約26,200 坪)
延床面積	約206,400 m ² (約62,400 坪) ※立体駐車場棟含む
構造規模	店舗棟：鉄骨造地上5階、地下1階建 立体駐車場棟：鉄骨造地上7階建2棟 他

スケジュール

2020.11	建築着工
2022.3	竣工
2022.4	開業

トピックス

- ✓ こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」 木育・多世代交流施設「おもちゃ美術館」の九州初進出
- ✓ 西鉄ストア新ブランド店の出店
 - ・新ブランド：レガネット DAILY ENTERTAINMENT SQUARE
- ✓ コンソーシアム各社と連携した事業推進[交通計画]
 - ・施設内のバスターミナルと各方面を繋ぐバス路線を計画

西鉄ストア新ブランド店



持続可能で活力あるまちづくりの推進



北九州エリアでの
自動運転バス実証実験



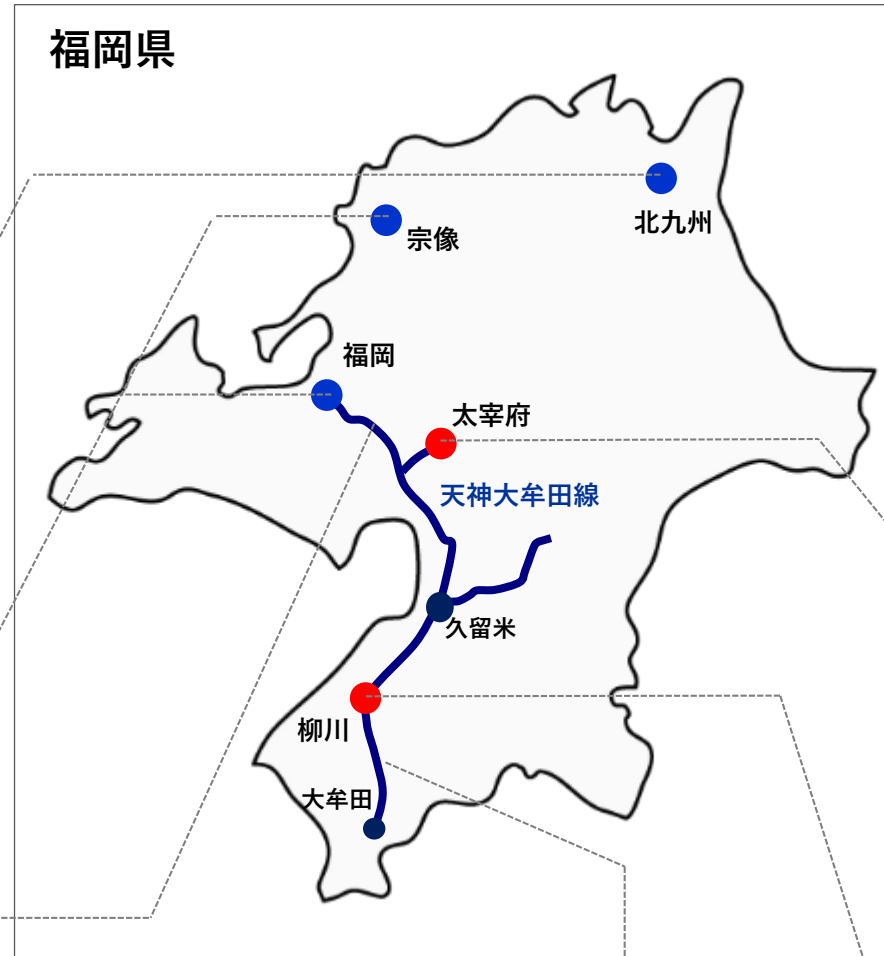
AI活用型オンデマンドバス
「のる〜と」の展開



連続立体交差事業に伴うまちづくり
(雑餉隈〜下大利駅エリア)



上質かつ特別なバスツアーブランド GRANDAYS



THE RAIL KITCHEN CHIKUGO



(客室)



(外観)

古民家宿泊施設
HOTEL CULTIA 太宰府



(どんこ舟で川下り)



(イメージ)

西鉄柳川駅周辺整備事業

持続可能で活力あるまちづくりの推進

持続可能な交通ネットワークの実現

▶ AI活用型オンデマンドバス「のるーと」の展開 (運行形態の転換・ソリューション外販)



《直近の導入事例》

- 長野県塩尻市
2020.11~実証運行[1か月]
2021.10~実証運行[6か月]
- 福岡県宗像市
2021.3~実証運行[2年間]
- 大阪府大阪市
2021.3~実証運行

▶ 自動運転バス実証実験への参画



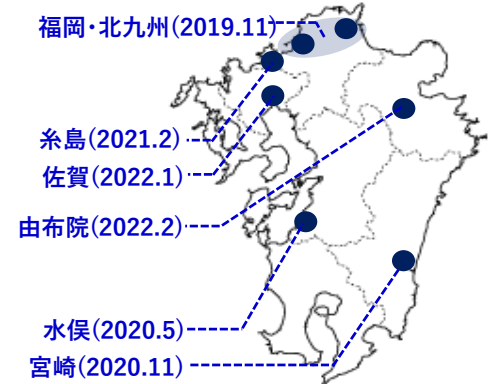
《中型自動運転バス実証実験》

- 北九州エリア(2020年度)
朽網～北九州空港線

※経済産業省・国土交通省の事業を受託した
国立研究開発法人産業技術総合研究所より
実証事業者に選定され、実施

▶ MaaSなど次世代モビリティの取り組み強化

- MaaSプラットフォーム "my route" アプリの進化
✓ 事業エリア拡大、交通モードの連携、データ活用事業



▲九州エリアでのmy route展開

▶ 他交通事業者との連携強化(JR九州等)

《利便性向上への取り組み》

- JR下曾根駅での列車・バス乗継施策
 - ✓ バス系統の新設
 - ✓ バス時刻の列車への接続調整
 - ✓ バス車内・駅構内での運行情報提供

時刻表		JR下曾根駅		10:31	
行先	乗車時刻	行先	乗車時刻	行先	乗車時刻
小倉	10:42	小倉	11:05	小倉	11:24
小倉	11:41	小倉	12:05		

▲バス車内での時刻表表示(イメージ)

- JR戸畑駅での西鉄バス定期券窓口の開設
(JRみどりの窓口と隣接)

持続可能で活力あるまちづくりの推進

地域資源と連携した事業機会の創出

ポストコロナの観光復活に向けた取り組み

▶ 地域を味わう旅列車 「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」の運行



▲THE RAIL KITCHEN CHIKUGO

▲地域を味わうランチ筑後の旅
コース料理

▶ 古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」 における地域との連携

- 周辺地域と連携した体験型コンテンツ造成
- ✓ 太宰府天満宮夜間正式参拝、九州国立博物館ナイトツアー



▲古香庵



▲2021.3増築 梅花(左)、好古亭(右)

▶ (株)NJアグリサポートによる 六次化商品「トマトゼリー」の販売



▶ ポストコロナの観光需要獲得や 新たな需要掘り起こしに向けた取り組み



▲福岡空港内を走行する新ツアー
(福岡空港ビューンとツアー)



▲天神大牟田線での
サイクルトレイン実施



▲西鉄ホテルグループ
長期滞在プラン

▶ ポストコロナ新仕様ホテルの新設

- 長期宿泊者向け客室を設けたホテル
- ✓ 洗濯乾燥機、電子レンジ、ミニキッチンの一部客室に設置



▲西鉄ホテルクルーム博多祇園(仮称・2023年春開業予定)



▶ 他事業者と連携した観光客の利便性向上

《JR九州》2021.7~8

- 天神・博多乗レール買エールチケット

《JR九州・第一交通》2021.11~

- 北九州いってきまあ〜すチケット





住宅・流通・国際物流・海外事業の拡大

住宅事業

- ▶ 首都圏など域外でのマンション供給強化
- ▶ 福岡地区での社有地等を活用したマンション供給強化 等



▲分譲マンション
サンリヤン横浜鶴見ブランシエラ
(2021年8月)



▲有料老人ホーム
サンカルナ西新(2021年6月)

流通事業

- ▶ 天神大牟田線高架駅などへの新規出店
- ▶ デジタル活用・他社アライアンスによる販促強化



▲スーパーマーケット



▲生活雑貨販売

国際物流事業

- ▶ 海外ネットワークの拡充
- ▶ 品目戦略の推進による営業強化
- ▶ ロジスティクス事業の拡大

トピックス

- ✓ 福岡ロジスティクスセンター
開業(2022.9予定)



海外事業

- ▶ 東南アジア・アメリカでの開発事業拡大
(物流倉庫・オフィス・商業 など)

トピックス

- ✓ インドネシアの住宅デベロッパーの株式取得(2022.1)
「PT. PREMIER QUALITAS INDONESIA.
(本社:南ジャカルタ 代表者:デイビット・パルトノ)」
の株式 49%を保有する投資持株会社の株式を100%取得

住宅・流通・国際物流・海外事業の拡大

海外事業

トピックス

✓インドネシアの住宅デベロッパーの株式取得(2022.1)

「PT. PREMIER QUALITAS INDONESIA.

(本社:南ジャカルタ 代表者:デイビット・パルトノ 以下プレミア社)」の株式 49%を保有する
投資持株会社の株式を100%取得

➤ PREMIER INDONESIA PROJECTS



➤ プレミア社の概要 (PT. PREMIER QUALITAS INDONESIA.)

会社名	PT. PREMIER QUALITAS INDONESIA. (プレミア クオリタス インドネシア)
設立	2007年
代表者	デイビット・パルトノ
資本金	741百万円
従業員数	87人(2022.1.1時点)
事業内容	インドネシアにおける戸建住宅開発
開発実績	ジャカルタ周辺で 戸建住宅を年間 100~200 戸程度開発 累積開発実績は 約 4,000戸(2021年末時点)

デジタル化・新技術の活用による生産性・顧客体験の向上

デジタル化・新技術の活用による顧客体験の向上



▶ LINEを活用した西鉄グループのDX推進 Nishitetsu Group with LINE



主な取り組み

- ✓ 天神定期券発売所順番待ち(2021.3)
- ✓ マリンワールド順番待ち(2021.4)
- ✓ 西鉄ストア予約注文(2021.6)
- ✓ 鉄道サイクルトレイン予約(2022.3)

▶ ドライブレコーダー映像等を活用した オンライン社会科見学の実施(西鉄観光バス(株))



▲オンラインで絵付けを習う様子



▲目的地までのドライブレコーダー映像

▶ 顧客接点の拡大に向けた デジタルマーケティングの実施



▲ソラリアプラザでのインスタライブの様子

▶ 最新技術を活用した 販促活動の実施

- ARや5Gなど
最新技術を活用した
イベントの実施による
SNSマーケティング



《ソラリアプラザ》
QRコードを読み取ると
ARクリスマスツリーが出現▶

デジタル化・新技術の活用による生産性・顧客体験の向上

デジタル化・新技術の活用した事業・サービス検討

▶ 鉄道・バス利用者の行動変容を促す”ナッジ応用技術”を活用したアプリによるピークシフト・移動総量の増加・商業施設への誘客検証 (日立製作所との実証実験/2022.2~3)

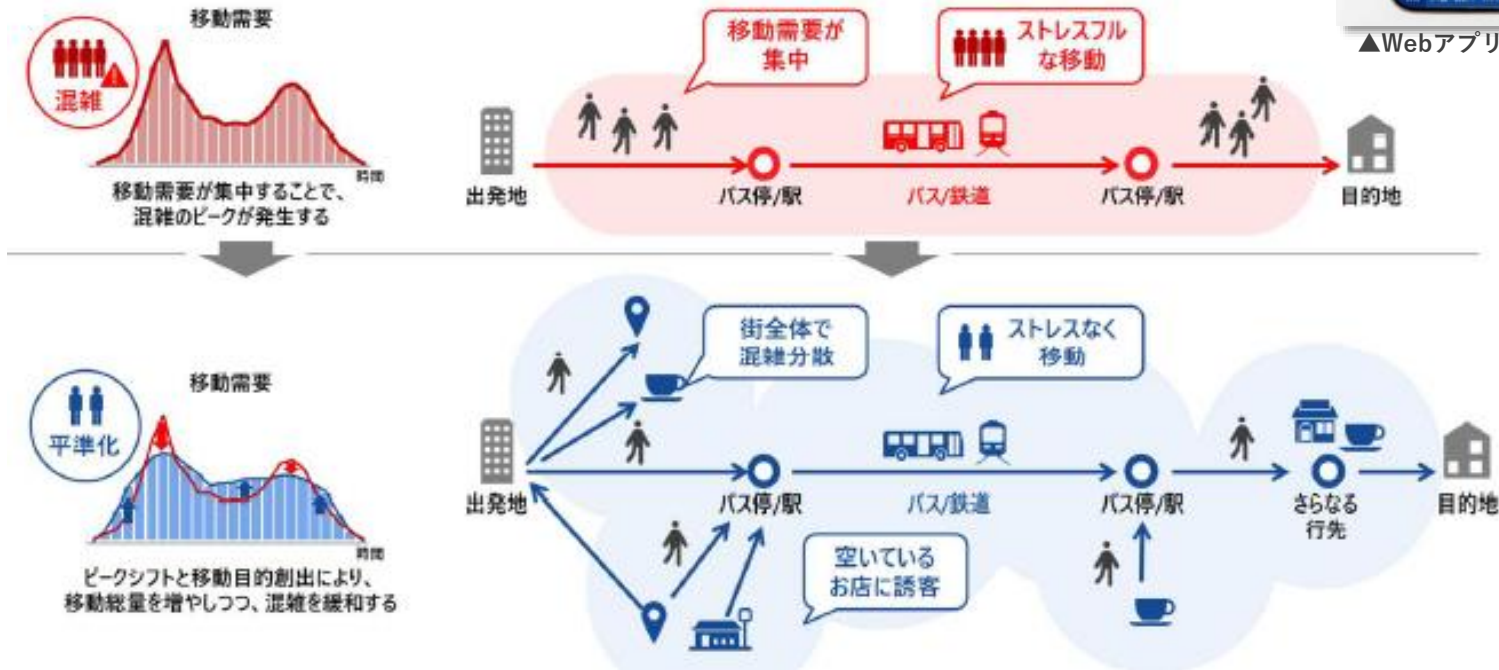
- 移動経路の検索時に、統計情報や個人の特性に応じた移動パターンを表示し、”理想的な移動体験”を実現するサービスの実用化を目指す

✓ 移動パターンの提案で考慮される情報

鉄道・バスの各区間における天候を加味した統計的な混雑推定、商業施設の混雑情報、目的地への経路、個人の嗜好や特性 など



▲Webアプリ画面イメージ



▲本実証実験で促す行動変容のイメージ

ESG・SDGs視点での取り組み強化

国が掲げる「2050年カーボンニュートラル達成」に向けた取り組み



鉄道事業・バス事業

- ▶ 省エネ鉄道車両の導入による回生電力の駅施設への活用検討
- ▶ 中古バス車両を安価に電動化した「レトロフィットバス」の導入拡大に向けた実証運行
 - ・住友商事(株)、住友商事九州(株)と連携し、走行性能・環境負荷および運用面における諸課題を検証



レトロフィットバス

国際物流

- ▶ グリーンロジスティクスへの取り組み（モーダルシフト・集約配送等）
 - ・CRU(コンテナラウンドユース)への取り組み [トラック走行距離削減によるCO2削減]
 - ・モーダルシフトの推進(JR貨物によるコンテナ輸送の推進) [鉄道利用によるCO2削減]
 - ・かご車・エコバンド等の活用による包装・梱包資材の削減 [包装・梱包資材の使用量削減や廃棄削減によるCO2削減]

《参考》環境への取り組み

<http://www.nishitetsu.co.jp/environment/>

〔継続して取り組む主な施策〕

鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・電力使用量削減 (VVVFインバータ制御装置等)
バス	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの燃費向上 (デジタコによる運行管理等) ・環境対応車両導入 (ハイブリッドバス・アイドリングストップシステム)
賃貸	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトダウンキャンペーン (外装照明類の夜間消灯) ・商業施設共用部へのLED電球の導入
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ清掃(連泊時) ・リニューアルに合わせた環境にやさしい商品への更新 (LED照明、節水型シャワーキャップ等)

新領域事業

- ▶ エネルギー領域における新事業の検討
 - ・再生可能エネルギーに関する事業検討

連結決算の概要(2020年度・2021年度第3四半期) 2021年度通期業績予想

連結営業概況（2020年度）

連結の範囲(期末)・・・子会社 80社、関連会社 30社

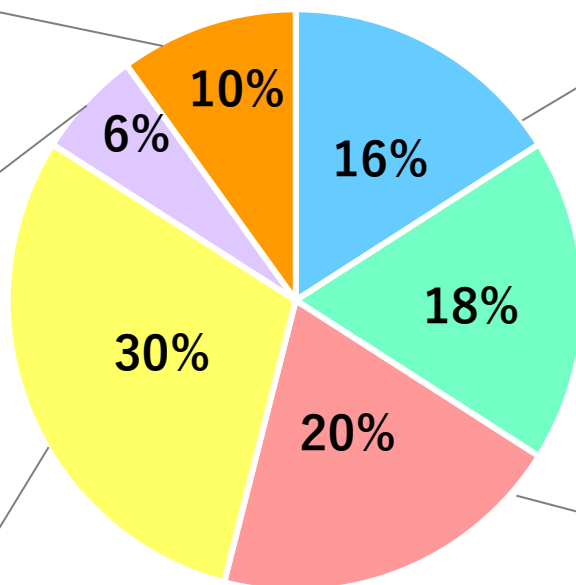
- ・ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業 等
- ・ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、住宅事業、ホテル事業 等

連結営業収益 346,121 百万円

その他	車両整備関連	50 %
	建設関連	34 %
	他	16 %
営業収益	36,464 百万円	

レジャー・サービス業	ホテル	47 %
	娯楽	10 %
	他	43 %
営業収益	21,886 百万円	

物流業	国際物流	92 %
	国内物流	8 %
営業収益	111,409 百万円	



運輸業	鉄道	23 %
	バス	58 %
	他	19 %
営業収益	59,812 百万円	

不動産業	賃貸	33 %
	住宅	50 %
	他	17 %
営業収益	64,551 百万円	

流通業	ストア	94 %
	生活雑貨販売	6 %
営業収益	74,477 百万円	

※調整額 ▲22,481 百万円

2020年度 連結損益計算書

(単位：億円)

	2020年度	2019年度	増減	増減率
営業収益	3,461	3,894	▲433	▲11.1%
営業利益	▲95	164	▲259	—
経常利益	▲96	143	▲240	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲121	67	▲188	—

2020年度 セグメント別営業成績

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2020年度	2019年度	増減 (増減率)	2020年度	2019年度	増減 (増減率)
運 輸 業	598	870	▲272 (▲31.2%)	▲118	45	▲164 (-)
不 動 産 業	646	657	▲12 (▲1.8%)	73	77	▲4 (▲5.7%)
流 通 業	745	783	▲38 (▲4.9%)	14	9	5 (62.5%)
物 流 業	1,114	994	120 (12.0%)	38	22	16 (70.6%)
レジャー・ サービス業	219	440	▲221 (▲50.2%)	▲110	3	▲113 (-)
そ の 他	365	447	▲82 (▲18.4%)	11	9	3 (29.5%)

連結貸借対照表（2021年3月末）

（単位：億円）

	2021年 3月末	2020年 3月末	増減	摘要
資産合計	7,078	6,672	407	
流動資産	1,809	1,583	227	現金及び預金、 販売土地及び建物の増加
固定資産	5,269	5,089	180	有形固定資産の増加
負債合計	5,379	4,866	513	
流動負債	1,906	1,995	▲89	支払手形及び買掛金の減少
固定負債	3,472	2,871	601	有利子負債の増加
純資産合計	1,699	1,805	▲106	利益剰余金の減少

2021年度第3四半期 連結損益計算書

(単位：億円)

	2021.3Q	2020.3Q	増減	増減率
営業収益	3,010	2,426	584	24.1%
営業利益	65	▲97	162	—
経常利益	71	▲111	182	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	51	▲105	156	—

2021年度第3四半期 セグメント別営業成績

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2021.3Q	2020.3Q	増減 (増減率)	2021.3Q	2020.3Q	増減 (増減率)
運輸業	479	437	42 (9.7%)	▲33	▲93	60 (-)
不動産業	501	411	90 (22.0%)	54	39	15 (37.6%)
流通業	525	579	▲54 (▲9.4%)	6	11	▲5 (▲44.7%)
物流業	1,260	775	484 (62.5%)	77	23	54 (237.4%)
レジャー・サービス業	155	141	15 (10.3%)	▲49	▲79	30 (-)
その他	213	247	▲34 (▲13.9%)	11	4	6 (150.0%)

連結貸借対照表 (2021年12月末)

(単位：億円)

	2021年 12月末	2021年 3月末	増減	摘要
資産合計	7,280	7,078	202	
流動資産	2,061	1,809	251	現金及び預金の増加
固定資産	5,219	5,269	▲49	
負債合計	5,558	5,379	179	
流動負債	1,938	1,906	32	有利子負債、前受金の増加、 支払手形及び買掛金の減少
固定負債	3,619	3,472	147	有利子負債の増加
純資産合計	1,722	1,699	23	利益剰余金の増加

2021年度 通期業績予想

(単位：億円)

	2021年度 (予想)	2020年度 (実績)	増減	増減率
営業収益	4,067	3,461	606	17.5%
営業利益	70	▲95	165	—
経常利益	96	▲96	192	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	▲121	192	—

2021年度 セグメント別業績予想

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2021年度 (予想)	2020年度 (実績)	増減	2021年度 (予想)	2020年度 (実績)	増減
運 輸 業	645	598	47 (▲20)	▲48	▲118	70 (-)
不 動 産 業	761	649	112 (1)	72	73	▲1 (▲10)
流 通 業	688	761	▲73 (▲69)	7	11	▲4 (-)
物 流 業	1,664	1,114	550 (▲23)	97	38	59 (▲3)
レジャー・ サービス業	213	197	16 (▲22)	▲68	▲106	38 (▲0)
そ の 他	304	365	▲61 (▲79)	15	11	4 (▲0)

※一部連結子会社の組織再編等を実施したことにより、2020年度実績のセグメント情報を変更しています。

※()内の数値は収益認識等の影響額

株主還元・株主優待

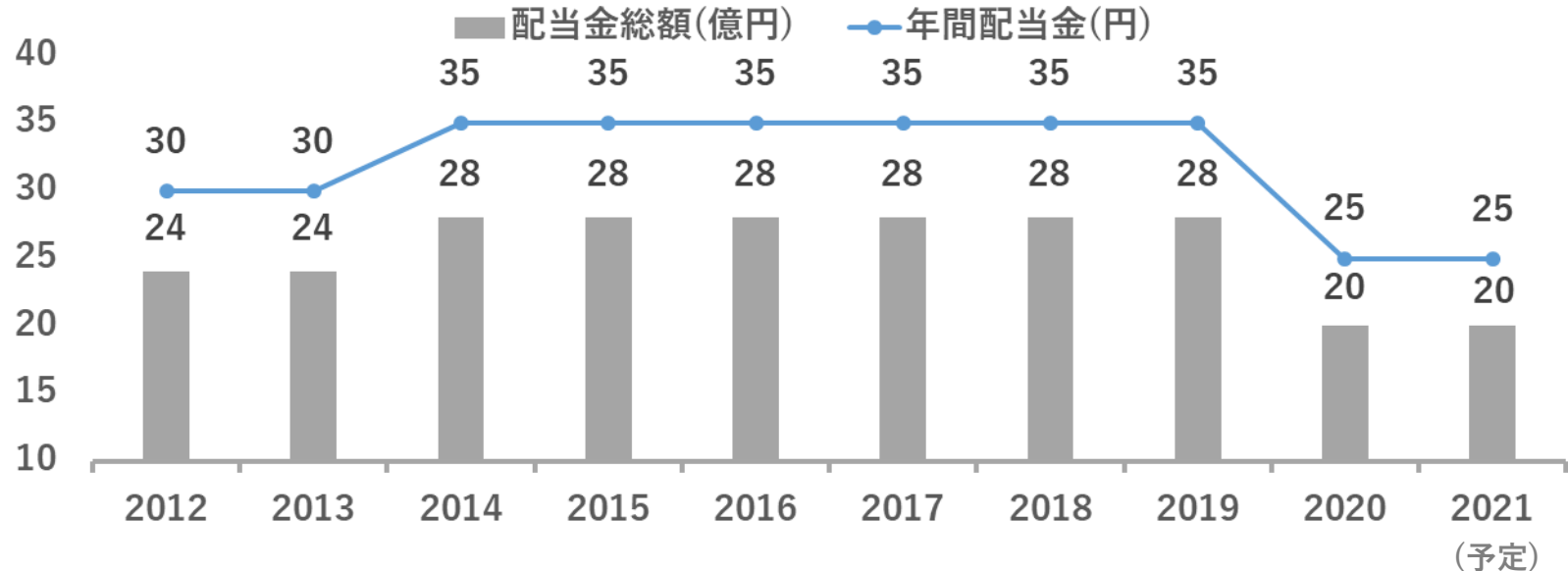
株主還元

配当政策

- 安定した利益還元を重視
- 適切な内部留保の確保による財務体質及び経営基盤の強化を図り、安定的・継続的な配当実施
- 2021年度配当予想は、通期25円（中間配当金12円50銭）

《参考》配当金の推移

(円/億円)



連結配当性向	25.8%	20.9%	26.6%	18.2%	22.7%	23.9%	43.6%	41.3%	-	27.7%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	-------

※2017年10月1日付で普通株式1株につき1株の割合をもって株式併合を実施
本グラフにおいては、当該株式併合を勘案した配当金を記載

株主優待

基準日（毎年3月31日・9月30日）の最終の株主名簿に記載された株主さまに対し、ご所有株式数に応じて優待を提供いたします。

①電車・バスにお乗りいただけるもの

- ・回数券方式（600株以上）
- ・定期券方式（6,000株以上）

※長期保有で回数券方式乗車券4枚追加
（2,000株以上6,000株未満）



②海外を含む全国のホテルで割引が受けられるもの

- ・20%割引券（6,000株以上）等

※長期保有で半額割引券1枚～3枚追加
（6,000株以上）



③その他、当社グループの施設・店舗等で割引が受けられるもの

- ・グループ優待カード（600株以上）等



※長期保有優待は、弊社株式を継続して3年以上保有の株主さまが対象です。

※発行条件、発行枚数、利用条件等、詳細につきましては弊社ホームページをご確認ください。

※株主優待の内容は変更となる可能性があります。

まちに、夢を描こう。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。